

○函館市基本構想審議会条例

平成18年3月24日

条例第5号

(設置)

第1条 市の総合計画における基本構想の策定に資するため、函館市基本構想審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、市の総合計画における基本構想について調査審議し、その結果を答申するものとする。

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 各種団体の推薦する者
- (3) 公募による者
- (4) その他市長が必要と認める者

3 委員は、当該諮問に係る調査審議が終了したときは、解嘱されたものとする。

(会長および副会長)

第4条 審議会に、会長および副会長各1人を置く。

2 会長および副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、審議会の事務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 会長は、審議会の会議の議長となる。

3 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、審議会の会議に委員以外の者の出席を求め、

その意見または説明を聴くことができる。

(部会)

第7条 審議会は、第2条の所掌事務を分掌させる必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、企画部において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

- 1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 特別職の職員の給与等に関する条例（昭和40年函館市条例第22号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成28年3月15日条例第3号）

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
(特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正)
- 2 特別職の職員の給与等に関する条例（昭和40年函館市条例第22号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)